

個別の教育支援計画

高等学校等用
平成 年度

立 学校

平成 年 月 日記入

記入者:

ふりがな		性別	生年月日	保護者氏名
氏名		男	平成 年 月 日	
住所	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 市 町 丁目	電話番号	-	
学習・生活の様子 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による指示や説明の理解が苦手だが、文字や図を加えて示すと理解できる。 時間や行動の手順にこだわることもあるが、自分の役割や課題には前向きに取り組む。 思いついたことをそのまま口にしてしまい、友達とトラブルが生じる。 	教育暦	H . 4 ~ H . 3 幼稚園 H . 4 ~ H . 3 市立 小学校 H . 4 ~ H . 3 市立 中学校	
障害名(診断名)既往歴	5歳の時、てんかん発作あり。(3年間投薬、それ以後は発作なし。)	諸検査の記録等	WISC- IQ (VIQ PIQ) 検査日 H 年 月 日	
本人の願い 進路希望等	<ul style="list-style-type: none"> 友達といさかいを起こさず、落ち着いて生活したい。 地理や歴史に関係のある仕事に就きたい。 	保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人とよい関係を築き、学校生活を穏やかに送ってほしい。 	

支援の目標	<ul style="list-style-type: none"> 課題や行動に見通しをもち、落ち着いて毎日の学校生活が送れるようにする。 日常の様々な場面での人とかかわるスキルを身に付けられるようにする。 		
必要な支援内容	関係機関・支援者(連絡先)	評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 学習課題や日常場面での指示に関して、本人が理解しやすい提示方法を学校と家庭とで共通理解し、本人への働き掛けを行う。(H 年 月 日) 	HR担任 保護者 特別支援教育コーディネーター 各授業担当者	<ul style="list-style-type: none"> 文字や図を活用して課題の提示や指示を端的に行うことで、本人が混乱する場面が減った。(H 年 月 日) 	
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校と連携をとり、あいさつや応答など、身近な場面の指導にソーシャルスキルトレーニングの手法を取り入れる。(H 年 月 日) 	HR担任 特別支援教育コーディネーター 県立 特別支援学校コーディネーター (. .)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な受け答えは身に付いた。今後は許可、同意の求め方を指導する。(H 年 月 日) 	

相談・ケース会議の記録			
月日	実施方法	相談・協議内容	確認事項
H 年 月 日	〔電話による相談〕 県立 特別支援学校 担当:	<ul style="list-style-type: none"> 本人の様子と問題点 今後の対処方法 	<ul style="list-style-type: none"> 来校し、本人を観察してもらった上で、ケース会議を開き、今後の支援について検討する。
H 年 月 日	〔ケース会議〕 県立 特別支援学校 () HR担任、特別支援教育コーディネーター、学年主任	<ul style="list-style-type: none"> 本人の現状理解 支援方針と具体的な手だて 	<ul style="list-style-type: none"> 指示・説明時の配慮(視覚情報の提示) 対人場面での具体的な行動の示し方

特別支援教育校内委員会 巡回相談・専門家チーム等の記録		
日時	参加者	協議内容・引継事項等
H 年 月 日	校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、学年主任、HR担任、生徒指導主事、養護教諭・・・	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活、家庭生活の状況、当面している課題 対人場面における支援の必要性和支援方法の共通理解 特別支援学校や相談専門機関の利用

上記の計画について、了承いたします。

年 月 日

保護者署名

印